

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を讀んだり書いたりしよう

年 組 番 名前

(1)〜(10)の——部の漢字の読みをひらがなで、——部のひらがなを漢字で、それぞれに書きましよう。

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)	い	い
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

## 『子ども発明クラブ』メンバー募集

「こんなものがあつたら べんりだな」などの はっそうを作品  
 (1) (2)  
 にしてみませんか。 けいけん ゆたかな指導員のアドバイスを受け  
 (3)  
 ながら、ともだちと、発明作品を作り上げ、かがくてきなもの  
 (4) (5)  
 の見方や考え方を 養います。  
 (6)

「オリジナル発明作品を作りたい！」 そんな きぼうを  
 (7)  
 もっているみなさん。発明クラブにぜひ参加してください。

1 日 時 平成29年5月～平成30年2月(9:00～11:30)  
 原則として第2土曜日(全10回)

2 対 象 校区内 在住の小学4年生から中学3年生  
 (8)

3 募集人数 30名



4 会 場 しよく職業 くんれんセンター  
 (9)

5 申し込み方法  
 申し込み用紙に①名前②学校名・新年度の学年③住所④電話

番号を きにゆうして、4月6日までに申し込みください。  
 (10)



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を讀んだり書いたりしよう①

年 組 番 名前

(1) ～ (10) の ー 部の漢字の読みをひらがなで、 ー 部のひらがなを漢字で、それぞれ いねいに書きましょう。

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)	(いて)	(いて)
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

## 児童会役員選挙について

西小学校 選挙かんり委員会  
(1)

### 児童会役員選挙ってなあに？

児童会は、学校を自分たちでよりよくしていこうと考えたり、考えたことを、みんなに行動することをよびかけたりします。

とうぜん、みなさんは全員が児童会のかいいんです。その中で  
(2) (3)

も、みんなの考えを聞いたり、みんなのためのかつどうをよび  
(4)

かけたりすることを、みんなのだいひょうとして行い、みんな  
(5)

を率いていく人が、児童会の役員です。児童会役員選挙とは、  
(6)

児童会の役員を選ぶことです。

### 児童会役員選挙の日程について (7)

◇立候ほ者の受付 10月1日～10月3日昼休みまで

◇選挙きかん (8) 10月4日～10月9日昼休みまで

◇立ち会いえんぜつ会・とうひょう (9) 10月9日 5時間目 (10)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を読んだり書いたりしよう①

年 組 番 名前

(1) ～ (10) の ー 部の漢字の読みをひらがなで、ー 部のひらがなを漢字で、それぞれ いねいに書きましょう。

(1)	管理
(2)	当然
(3)	会員
(4)	活動
(5)	代表
(6)	ひき (いて)
(7)	にってい
(8)	期間
(9)	演説
(10)	投票

## 児童会役員選挙について

西小学校 選挙かんり委員会 (1)

### 児童会役員選挙ってなあに？

児童会は、学校を自分たちでよりよくしていこうと考えたり、考えたことを、みんなに行動することをよびかけたりします。

とうぜん、みなさんは全員が児童会のかいいんです。その中で (2) (3)

も、みんなの考えを聞いたり、みんなのためのかつどうをよび (4)

かけたりすることを、みんなのだいひょうとして行い、みんな (5)

を率いていく人が、児童会の役員で (6)

児童会の役員を選ぶことです。

### 児童会役員選挙の日程について (7)

◇立候補者の受付 9月1日

◇選挙きかん (8) 10月4日

◇立ち会いえんぜつ会・とうひょう (9) (10) 10月9日 5時間目

◆ヒント◆

【期間】は、ある決まった時から別の決まった時までの間のことを表します。

【機関】は、ある仕事をするためにつくられた仕組みのことを表します。

【器官】は、生物の体の中である決まった動きを受け持つところを表します。

文の意味を考えて、ふさわしい漢字を書きましょう。

◆ヒント◆

「たくさんの人たちの前で自分の意見を言う」という意味です。

# 漢字を讀んだり書いたりしよう②

年 組 番 名前

(1) (10) の——部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれ  
いねいに書きましよう

(1)	(しまれ)	(しまれ)
(2)		
(3)		
(4)	(い)	(い)
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

## ☆劇<sup>げき</sup>の発表会のお知らせ☆

東小学校5年1組一同

わたしたち5年1組では、劇の発表会をすることになりました。  
今回発表する作品は、多くの人に親しまれているものです。  
(1)

みんなでセリフや動きをそうだんしながら、決めました。見  
(2)  
どころは、海鳥をすくうために主役が勢いよく走り出す場面で  
(3) (4)  
す。最後にクラス全員によるがっしょうもあります。  
(5)

はじめての舞台<sup>ぶたい</sup>ですので、きんちょうするかもしれませんが、  
(6)  
練習をしてきた成果を、じしんを持って発表したいと思います。  
(7)

- 1 発表する日 : 平成30年5月30日(水)
- 2 時 間 : 午後2時から午後3時まで  
(かいじょうは、30分前)  
(8)
- 3 場 所 : 東小学校体育館
- 4 発表作品 : 音楽劇「海鳥のす」  
(9)
- 5 お 願 い : 演技中は静かにしてください。  
(10)



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を読んだり書いたりしよう②

年 組 番 名前

(1)～(10)の——部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれていねいに書きましよう

(1)	した (しまれ)
(2)	相談
(3)	救う
(4)	いきお (い)
(5)	合唱
(6)	初めて
(7)	自信
(8)	開場
(9)	巣
(10)	えんぎ

## ☆劇の発表会のお知らせ☆

東小学校5年1組一同

わたしたち5年1組では、劇の発表会をすることになりました。今回発表する作品は、多くの人に観しまれているものです。(1)

みんなでセリフや動きをそうだんしながら、決めました。見どころは、海鳥をすくうために主役が勢よく走り出す場面です。(2)(3)(4)

最後にクラス全員によるがっしょうもあります。(5)

はじめての舞台ですので、きんちょうするかもしれませんが、れんじゆをしてきた成果を、じしんを持って発表したいと思います。(6)(7)

- 1 発表する日 : 平成30年5月30日(水)
- 2 時 間 : 午後2時から午後3時まで  
(かいじょうは、30分前)(8)
- 3 場 所 : 東小学校体育館
- 4 表 作 品 : 音楽劇「海鳥のす」(9)
- 5 願 望 : 演技中は静かにしてください。(10)

◆ヒント◆  
【初め】は、最初という意味です。  
【始め】は、始めること、開始という意味です。  
文の意味を考えて、ひらがなで漢字を書きましよう。

◆ヒント◆  
【開場】は、場所を開いて、人を入場させることを表します。  
【会場】は、会を開く場所のものを表します。  
【海上】は、海の上を表します。  
文の意味を考えて、ひらがなで漢字を書きましよう。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

### 漢字を読んだり書いたりしよう③

年 組 番 名前

一次の（ ）に当てはまる漢字として正しいものを一つ選び、○で囲みましょう。

①この参考書は、中学生を（対象）・対照（）としている。

②夜が（開ける）・明ける（）。

③雨がふってきたので、かさを（指す）・差す（）。

④うれしい気持ちを言葉に（現す）・表す（）。

⑤重さを（量る）・計る）・測る（）。

⑥電車の運ちんを（清算）・生産（）する。

⑦弟の作文に（関心）・感心（）する。

二次の——部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましよう。

①	サッカーの試合をさいかいする。		
②	転校した友達にさいかいする。		
③	大雨で交通きかんが混らんした。		
④	体の中には消化きかんがある。		
⑤	夜中に目がさめる。		
⑥	ココアがさめる。		
⑦	金メダルをとる。		
⑧	山菜をとる。		

◆ヒント◆  
 【対象】は、目的とする相手のことを表します。  
 【対照】は、二つのものを見比べることを表します。

特質に関する事項  
 を読んだり書いたり  
 年 組 番 名前

◆ヒント◆  
 【指す】は、指で示すことを表します。  
 【差す】は、かさすことを表します。

一次の（ ） 目ではまる漢字として正しいものを一

①この参考書は、中学生を（対象）・対照（とし

②夜が（開ける）・明ける（）。

③雨がふってきたので、かさを（指す）・差す（）。

④うれしい気持ちを言葉に（現す）・表す（）。

⑤重さを（量る）・計る）・測る（）。

⑥電車の運ちんを（清算）・生産（する）。

⑦弟の作文に（関心）・感心（する）。

二次の——部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに

◆ヒント◆  
 【現す】は、見えなかったものを人の目に見えぬようにするのこを表現します。  
 【表す】は、気持ちや考えなどを言葉や絵などで分かるように表現することを表します。

◆ヒント◆  
 【量る】は、重さ・量などを調べることを表します。  
 【計る】は、数や時間を調べることを表します。  
 【測る】は、長さ・高さ・広さなどを調べることを表します。

◆ヒント◆  
 【清算】は、金額を計算して、結果を出すことを表します。  
 【生産】は、くろくに必要な物を作る行為のことを表します。

◆ヒント◆  
 【再開】は、一度やめたものを再び始めることを表します。  
 【再会】は、もう一度会うことを表します。

◆ヒント◆  
 【機関】は、ある仕事をするためにつくられた仕組みのこを表します。  
 【器官】は、生物の体の中である決まった働きを受け持つところを表します。

◆ヒント◆  
 【覚める】は、起きるのこを表します。  
 【冷める】は、熱がなくなることを表します。

◆ヒント◆  
 【取る】は、手に持つこと、自分のものになることを表します。  
 【採る】は、むぎを集めることを表します。

①	サッカーの試合をさいかいする。	再開
②	転校した友達にさいかいする。	再会
③	大雨で交通きかんが混らんした。	機関
④	体の中には消化きかんがある。	器官
⑤	夜中に目がさめる。	覚（める）
⑥	ココアがさめる。	冷（める）
⑦	金メダルをとる。	取（る）
⑧	山菜をとる。	採（る）

漢字を読んだり、書いたりしよう（五年生までに学習する漢字）

年 組 番 名前

(1)～(10)の——部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれ書いてに書きましよう

(1)	
(2)	(い)
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	(む)
(9)	
(10)	

5年生のみなさんへ

図書委員会

子ども読書祭りのお知らせ



- 1 <sup>(1)</sup>きかん 6月5日(月)～6月16日(金)
- 2 <sup>(1)</sup>場所 図書室
- 3 イベント内容

【図書委員による読み聞かせ】

6月5日(月)～6月16日(金)の昼休みに<sup>(2)</sup>行います。

高学年<sup>(3)</sup>たいしょうの読み聞かせ日は9日(金)です。

図書委員の<sup>(4)</sup>指示にしたがってすわってください。

【図書委員が作った<sup>(5)</sup>げんていしおり】

きかん中に本を1000ページ読んで、読書のあゆみを  
図書委員に見せると、図書委員手作りのしおりがもら  
えます。この<sup>(6)</sup>きかいにたくさん読んでください。

【おすすめの本コーナー】

もうすぐ<sup>(7)</sup>つゆ梅雨入りです。外で遊べない日も多いので、  
図書委員の「おすすめの本」を図書室でしようか  
します。図書委員が<sup>(7)</sup>制作した絵本『<sup>(8)</sup>えんびつたろう鉛筆太郎のぼうけん-  
金のたまごを<sup>(8)</sup>うむトカゲを<sup>(9)</sup>きゅうじょせよ!-』  
もあります。<sup>(10)</sup>積極的に読んでみてください。

漢字を読んだら

伝統的な言語文化と国語の  
いに書きましよう

何かをするのに  
ちようどよいチャン  
スを書き表す時は  
「機会」を使いま  
す。「機械」や「器  
械」は、ものを作る  
しかけや道具を書  
き表す時に使いま  
す。

母が子やたまごを腹  
から出すことを書き表  
す時は「産」を使いま  
す。「生む」は、たんじ  
ようしたり、新しくで  
きたりすることを書き  
表す時に使います。

◆ヒント◆  
教科書の最後の方のページに  
ある「新しく習った漢字」や  
「この本で習う漢字」「これま  
でに習った漢字」などを見て、  
正しい漢字を確かめましよう。

(1)	期間
(2)	おこな(い)
(3)	対象
(4)	しじ
(5)	限定
(6)	機会
(7)	せいさく
(8)	産(む)
(9)	救助
(10)	せっきょくてき

5年生のみなさんへ

図書委員会

子ども読書祭りのお知らせ



- 1 <sup>(1)</sup>きかん 6月5日(月)～6月16日(金)
- 2 <sup>(1)</sup>場所 図書室
- 3 イベント内容

【図書委員による読み聞かせ】

6月5日(月)～6月16日(金)の昼休みに<sup>(2)</sup>行います。

高学年<sup>(3)</sup>たいしょうの読み聞かせ日は9日(金)です。

図書委員の<sup>(4)</sup>指示にしたがってすわってください。

【図書委員が作った<sup>(5)</sup>げんていしおり】

きかんに本を1000ページ読んで、読書のあゆみを  
図書委員に見せると、図書委員手作りのしおりがもら  
えます。この<sup>(6)</sup>きかいにたくさん読んでください。

【おすすめの本コーナー】

もうすぐ梅雨入りです。外で遊べない日も多いので、  
図書委員の「おすすめの本」を図書室でしようか  
います。図書委員が<sup>(7)</sup>制作した絵本『<sup>えんぴつたろう</sup>鉛筆太郎のぼうけん-  
金のたまごを<sup>(8)</sup>うむトカゲを<sup>(9)</sup>きゅうじょせよ!-』  
もあります。<sup>(10)</sup>積極的に読んでみてください。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(五年生で学習する漢字)

年 組 番 名前

次の 部ひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

問 題	答 え	もう一度、練習しよう
① 銀行にお金をあずける。		
② 絵具と水をまぜる。		
③ 雲から太陽があらわれる。		
④ いきおいをつける。		
⑤ げんいんと結果。		
⑥ スターがしゅつえんする映画。		
⑦ 学問をおさめる。		
⑧ 実験でかせつを立てる。		
⑨ せいかくに漢字を書く。		
⑩ 仕事を人にまかす。		
⑪ はかに花をそなえる。		
⑫ 水と空気とてきとうな温度。		
⑬ たわらに米をつめる。		
⑭ こころざしを立てる。		
⑮ こころよく引き受ける。		
⑯ この薬はいたみにきく。		
⑰ 商品のこすうを数える。		
⑱ とりでをきずく。		
⑲ ぎゃくてんさよならホームラン。		
⑳ 本屋でしゅうかんしを買う。		

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(五年生で学習する漢字)

年 組 番 名前

次の 部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

◆ヒント◆  
教科書の最後のページの「新しく習った漢字」や「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」などを見て、正しい漢字を確かめましょう。

問 題	答 え
① 銀行にお金をあずける。	預(ける)
② 絵具と水をまぜる。	混(ぜる)
③ 雲から太陽があらわれる。	現(れる)
④ いきおいをつける。	勢(い)
⑤ げんいんと結果。	原因
⑥ スターがしゅつえんする映画。	出演
⑦ 学問をおさめる。	修(める)
⑧ 実験でかせつを立てる。	仮説
⑨ せいかくに漢字を書く。	正確
⑩ 仕事を人にまかす。	任(す)
⑪ はかに花をそなえる。	墓
⑫ 水と空気とてきとうな温度。	適当
⑬ たわらに米をつめる。	俵
⑭ こころざしを立てる。	志
⑮ こころよく引き受ける。	快(く)
⑯ この薬はいたみにきく。	効(く)
⑰ 商品のこすうを数える。	個数
⑱ とりでをきざく。	築(く)
⑲ ぎゃくてんきさよならホームラン。	逆転
⑳ 本屋でしゅうかんしを買う。	週刊

いくつかのものを、いっしょにとけ合わせることを書き表す時は「混」を使います。いくつかのものを合わせて、いっしょにすることを書き表す時は「交」を使います。

かくれていたものすがたが見えるようになることを書き表す時は「現」を使います。気持ちや力などが、おもてに出ることを書き表す時は「表」を使います。

習ったり学んだりすることを書き表す時は「修」を使います。国をおだやかにすることを書き表す時は「治」を使います。

ある現象を説明するため、仮に立てる説明することを書き表す時は「仮説」と書きます。必要に応じて仮に設けることを書き表す時は「仮設」と書きます。

正しく行うことを書き表す時は「正確」を使います。人がらを書き表す時は「性格」を使います。

信用して、その人の思うままにさせることを書き表す時は「任」を使います。相手をやつけることを書き表す時は「負」を使います。

「適」には、ちょうど当てはまることにあたる意味があります。「敵」は、たたかいの相手の意味があります。

ききめがあることを書き表す時は「効」を使います。音を耳に入れることを書き表す時は「聞」を使います。

土や石をもり上げてつくることを書き表す時は「築く(きずく)」を使います。感じ取る、気が付くことを書き表す時は「築く(きずく)」を使います。

新聞や雑誌などを一週間ごとに出すことを書き表す時は「週刊」を、日曜日から土曜日までの七日間を書き表す時は「週間」、同じことをくりかえしているうちに、いつもするようになることを書き表す時は「習慣」と書きます。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

### 漢字を書こう①

年 組 番 名前

次の――部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましょう。

①	先生にそ <u>う</u> だ <u>ん</u> する。			
②	京都をか <u>ん</u> こ <u>う</u> する。			
③	ひ <u>さ</u> し <u>ぶ</u> りに <u>会</u> う。			
④	か <u>ぜ</u> をよ <u>ぼ</u> うする。			
⑤	外がひ <u>じ</u> ょうに <u>寒</u> い。			
⑥	楽 <u>器</u> を <u>せ</u> い <u>ぞ</u> うする工場。			
⑦	せ <u>き</u> に <u>ん</u> をも <u>つ</u> 。			
⑧	ボ <u>ー</u> ルをな <u>げ</u> る。			
⑨	魚をあ <u>み</u> で <u>や</u> く。			
⑩	シャ <u>ワ</u> ーをあ <u>び</u> る。			
⑪	妹を公 <u>園</u> へ <u>つ</u> れて <u>い</u> く。			
⑫	げ <u>き</u> の <u>せ</u> り <u>ふ</u> をお <u>ぼ</u> える。			
⑬	水道か <u>ん</u> の <u>工</u> 事。			
⑭	位 <u>置</u> が <u>へ</u> んか <u>す</u> る。			

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

### 漢字を書こう①

年 組 番 名前

次の——部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましょう。

⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
位置がへんかする。	水道かんの工事。	げきのせりふをおぼえる。	妹を公園へつれていく。	シャワーをあびる。	魚をあみでやく。	ボールをなげる。	せきにんをもつ。	楽器をせいぞうする工場。	外がひじょうに寒い。	かぜをよぼうする。	ひさしぶりに会う。	京都をかんこうする。	先生にそうだんする。
変化	管	覚	連	浴	焼	投	責任	製造	非常	予防	久	観光	相談

◆解説◆  
 「せいぞう」は、「製造」と書きます。同じ音をもつ「整」や「制」とまちがいがやすいので、気をつけましょう。  
 製・・・「作る」という意味をもつ。  
 整・・・「ととのえる」という意味をもつ。  
 制・・・「決める」という意味をもつ。

◆解説◆  
 「水道かん」は、「水道管」と書きます。同じ音と同じ部分をもつ「官」とまちがいがやすいので、気をつけましょう。  
 管・・・「くだ」「つつ」「支配する」という意味をもつ。  
 官・・・「役所」「役人」という意味をもつ。

◆解説◆  
 「せきにん」は、「責任」と書きます。同じ音と同じ部分をもつ「積」や「績」とまちがいがやすいので、気をつけましょう。  
 責・・・「しなければならぬ」という意味をもつ。  
 積・・・「上に重ねる」という意味をもつ。  
 績・・・「つみ重ねてきた仕事や手がら」という意味をもつ。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

## 漢字を書こう② く同音異義語く

年 組 番 名前

次の――部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましょう。

①	コンサートかいじょうは人でいっばいだ。		
②	午前十時にかいじょうする。		
③	あせらずに、きかいを待つ。		
④	きかいを動かす。		
⑤	夜中に目がさめる。		
⑥	ココアがさめる。		
⑦	こわれた時計をなおす。		
⑧	薬を飲んでかぜをなおす。		
⑨	百メートル走のタイムをはかる。		
⑩	黒板の横の長さをはかる。		
⑪	あついお茶を飲む。		
⑫	今年の夏はあつかった。		
⑬	体力にはじしんがある。		
⑭	自分じしんのこれまでをふり返る。		

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を書こう② く同音異義語く

年 組 番 名前

次の——部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましよう。

①	コンサートかいじょうは人でいっばいだ。
②	午前十時にかいじようする。
③	あせらずに、きかいを待つ。
④	きかいを動かす。
⑤	夜中に目がさめる。
⑥	ココアがさめる。
⑦	こわれた時計をなおす。
⑧	薬を飲んでかぜをなおす。
⑨	百メートル走のタイムをはかる。
⑩	黒板の横の長さをはかる。
⑪	あついお茶を飲む。
⑫	今年の夏はあつかった。
⑬	体力にはじしんがある。
⑭	自分じしんのこれまでをふり返る。

会場

◆解説◆  
 【会場】は、会を開く場所のことを表します。  
 【開場】は、場所を開いて、人を入場させることを表します。

開場

機会

◆解説◆  
 【機会】は、何かをするのに、ちよいどいい時を表します。  
 【機械】は、動力により、同じ運動をくり返して仕事をするしけのこを表します。

機械

覚

◆解説◆  
 【覚める】は、起きることを表します。  
 【冷める】は、熱がなくなることを表します。

冷

直

◆解説◆  
 【直す】は、ものよい状態にすることを表します。  
 【治す】は、病気やきずをよくなることを表します。

治

計

◆解説◆  
 【計る】は、数や時間を調べることを表します。  
 【測る】は、長さ・高さ・広さを調べることを表します。

測

熱

◆解説◆  
 【熱い】は、ものの温度が高いことを表します。  
 【暑い】は、気温が高いことを表します。

暑

自信

◆解説◆  
 【自信】は、自分の力や考えの正しさを自分で信じていることを表します。  
 【自身】は、「自分みずから」「自己」のこを表します。

自身

# 漢字とローマ字を書いたり読んだりしよう

年 組 番 名前

一次の文中の――部漢字の読みをひらがなで、――部のひらがなを漢字で、それぞれ書いてねに書きましよう。

○ この木は<sup>①</sup>幹が細いから、「強い風で木が<sup>②</sup>おれるのではないか」という心配は<sup>③</sup>おようだ。なぜなら、この木はとてもしなやかな性質だからだ。

①	②	③
れる	れる	

◆まちがえた漢字をもう一度練習しましよう。

○ 地球の資源を守るため、むだを<sup>④</sup>省くように<sup>⑤</sup>かのような限り努力することが大切だ。

④	⑤	
く		

◆まちがえた漢字をもう一度練習しましよう。

○ わたしは、社会見学で聞いたことをわすれないようにノートに<sup>⑥</sup>きろくしました。また、お店の人に質問させていた<sup>⑦</sup>だく時間があつたので、<sup>⑦</sup>せっきよくてきに発言しました。

⑥	⑦	

◆まちがえた漢字をもう一度練習しましよう。

二次の①から③までの言葉を、ローマ字で書いてねに書きましよう。また、④と⑤のローマ字は、ひらがなで書いてねに書きましよう。

① [ てんき ] ⇒

② [ おりがみ ] ⇒

③ [ きって ] ⇒

④ kingyo ⇒ [ ]

⑤ ottosei ⇒ [ ]

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字とローマ字を書いたり読んだりしよう

年 組 番 名前

一次の文中の――部漢字の読みをひらがなで、――部のひらがなを漢字で、それぞれいていねいに書きましよう。

○ この木は、<sup>①</sup>幹が細いから、「強い風で木が<sup>②</sup>おれるのではないか」という心配は、<sup>③</sup>むようだ。なぜなら、この木はとてもしなやかな性質だからだ。

◆まちがえた漢字をもう一度練習ましよう。	① みき	② 折	③ 無用
	れる	れる	

○ 地球の資源を守るため、むだを<sup>④</sup>省くように、<sup>⑤</sup>かのうな限り努力することが大切だ。

④ はぶく	⑤ 可能	◆まちがえた漢字をもう一度練習ましよう。
----------	---------	----------------------

○ わたしは、社会見学で聞いたことをわすれないようにノートに<sup>⑥</sup>きろくしました。また、お店の人に質問させていたたく時間があつたので、<sup>⑦</sup>せっきよくてきに発言しました。

⑥ 記録	⑦ 積極的	
---------	----------	--

◆まちがえた漢字をもう一度練習ましよう。

三 次の①から③までの言葉を、ローマ字でいていねいに書きましよう。また、④と⑤のローマ字は、ひらがなでいていねいに書きましよう。

① [ てんき ] ⇒ tenki

② [ おりがみ ] ⇒ origami

③ [ きて ] ⇒ kitte

◆解説◆[きて]  
つまる音がある時は、つまる音「っ」の次の音「て」の最初の字を重ねて書きます。

④ kingyo ⇒ [ きんぎょ ]

◆解説◆  
「ぎゃ」「ぎゅ」「ぎょ」などの音は、「gya」「gyu」「gyo」のように3文字で書きます。

⑤ ottosei ⇒ [ おっとせい ]

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 文の中で漢字を正しく使おう

年 組 番 名前

一次の①から④の 部のひらがなを漢字で書きましょう。また、 部と同じ漢字を 部を使って書く文として最も適切なものを、次のアからウまでの中からそれぞれ一つ 選んで、その記号を書きましよう。

① 本（ほん）の目（め）じを見て、調（しら）べる。

目
記号

② めずらしい植物（しょくぶつ）をさい集（あつ）める。

集
記号

ア じ務（む）室（むち）に行く。

イ 集中（しゆんじゆう）をじ続（つづ）かせる。

ウ じ回（かい）のクラブが楽し（たの）しみだ。

記号
----

ア 意見（いけん）をさい用（よう）する。

イ 国（くに）さい会（かい）議（ぎ）に出席（しゆせき）する。

ウ 試合（しあひ）をさい開（あ）くする。

記号
----

③ ロボット（ろぼと）をせい造（ぞう）する。

造
記号

④ 必要（ひつよう）なせつ備（び）を用意（ようい）する。

備
記号

ア 体育館（たいいくかん）にせい列（れつ）する。

イ せい服（ふく）のデザインを考（かん）える。

ウ 新（あたら）せい品（ひん）を試（し）す。

記号
----

ア やく目（め）を果（は）たす。

イ 委員（いん）会（かい）をもうける。

ウ ボール（ぼーる）をなげる。

記号
----

二次の —— 部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましよう。

⑩	四年生（よんねんせい）が参加（さんか）のたいし（たいし）ょうである。		
⑨	したしい友人（ゆうじん）と出（で）かける。	しい	しい
⑧	カラスの数がひじょうに多い。		
⑦	シャワーをあびる。	びる	びる
⑥	先生（せんせい）にそうだん（そうだん）する。		
⑤	勝利（しょうり）をいわう。	う	う
④	駅（えき）まで歩いておうふく（おうふく）する。		
③	バスがていし（ていし）ゃした。		
②	ぎじゆつ（ぎじゆつ）が進歩（しんぷ）する。		
①	部屋（へや）のおんどを記録（きろく）する。		

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 文の中で漢字を正しく使おう

◆解説◆ ① 目次（ア 事務室 イ 持続 ウ 次回）  
 「次」は「つぎ」「事」「は」「つぎの」「つぎの」「つぎの」「つぎの」「つぎの」「つぎの」「つぎの」  
 という意味をもつ漢字です。

選んで

① 本の目じを見て、調べる。

ア じ 務室<sup>む</sup>に行く。

イ 集中をじ続させる。

ウ じ 回のクラブが楽しみだ。

目次

記号

ウ

製造

記号

ウ

③ ロボットをせい造する。

ア 体育館にせい列する。

イ せい服のデザインを考える。

ウ 新せい品を試す。

設備

記号

イ

② めずらしい植物をさい集する。

ア 意見をさい用する。

イ 国さい会議に出席する。

ウ 試合をさい開する。

採集

記号

ア

◆解説◆ ② 採集（ア 採用 イ 国際 ウ 再體）  
 「採」は「とる」「際」は「比合つ」「再」は「もう一度」  
 という意味をもつ漢字です。

◆解説◆ ③ 製造（ア 整列 イ 制服 ウ 新製品）  
 「製」は「作る」「整」は「ととのえる」「制」は「決める」  
 という意味をもつ漢字です。

◆解説◆ ④ 設備（ア 役目 イ 設ける ウ 投げる）  
 「設」は「用意する」「役」は「仕事・やわら」「投」は「なげ」  
 という意味をもつ漢字です。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
四年生が参加のたいしようである。	したしい友人と出かける。	カラスの数がひじょうに多い	シャワーをあびる。	先生にそうだんする。	勝利をいわう。	駅まで歩いておうふくする	バスがていしやした。	ぎじゅつが進歩する。	部屋のおんどを記録する。

◆解説◆ 対（3年生）象（4年生）  
 「たいしよう」と読む漢字は複数あります。「対象」は「目的とする相手のこと」、  
 「対照」は「二つのものを見比べること」、「対称」は「おたがいが対応してつり合うこと」を表します。文の意味を考えて、ふさわしい漢字を書きましょう。

対象	親しい	非常	浴びる	相談	祝う	往復	停車	技術	温度
◆解説◆ 親（2年生）	◆解説◆ 非（5年生）常（5年生）	◆解説◆ 浴（4年生）	◆解説◆ 相（3年生）談（3年生） 同じ音をもつ「想」とまががえやすいの で、気をつけましょう。	◆解説◆ 祝（4年生） 部首は「礻（し）めすへん」「示（し）めすへん」です。「礻（し）めすへん」は「しめすへん」です。	◆解説◆ 往（5年生）復（5年生） 部首は「ミ（ぎょうにんべん）」です。	◆解説◆ 停（4年生）車（1年生）	◆解説◆ 技（5年生）術（5年生）	◆解説◆ 温（3年生）度（3年生）	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 文の中で適切な漢字をしよう①

年 組 番 名前

小林さんは、見学したことをノートにまとめています。次の【ノートの一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

## 【ノートの一部】

けいさつしょの見学で分かったこと

- ・110番をすると、通信し令室につながる。  
ア
- ・事故があった時には、消ぼうしよからきゅう急車を出動させることがある。  
イ
- ・お祭りの時には、交通せい理をしている。  
ウ
- ・こう番にきんむしているけいさつかんは、地いきのパトロールをしている。  
エ オ

### 【ヒント】

- ア「し」・・・さし示す、さしずするという意味の漢字です。
- イ「きゅう」・・・こまっている人をたすけるという意味の漢字です。
- ウ「せい」・・・きちんとそろえるという意味の漢字です。
- エ「こう」・・・ものともがまじわるとの意味の漢字です。
- オ「かん」・・・つとめている人、はたらきをうけもつ部分という意味の漢字です。

(問い) 【ノートの一部】のアからオの部は、どのような漢字を使って書きますか。部と同じ漢字を.....部を使って書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア
- 1 テストで実力をためす。
  - 2 柱で屋根をささえる。
  - 3 ゆび先が冷える。
- イ
- 1 助けをもとめる声をする。
  - 2 速いたまを打つ。
  - 3 人を危険からすくう。

- ウ
- 1 つくえの中をととのえる。
  - 2 まちがいをたす。
  - 3 しずかな森から鳥の鳴き声をする。
- エ
- 1 こう果的な方法。
  - 2 信号のあるこう差点を右にまがる。
  - 3 こう庭でボール遊びをする。

- オ
- 1 胃は消化器かんの一つだ。
  - 2 血の血かんの中を流れている。
  - 3 町の図書かんで本を借りる。

オ	ウ	ア
	エ	イ

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 文の中で適切な漢字をしよう①

年 組 番 名前

小林さんは、見学したことをノートにまとめています。次の【ノートの一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

## 【ノートの一部】

けいさつしょの見学でわかったこと

- ・110番をすると、通信し令室につながる。  
ア
- ・事故があった時には、消ぼうしよからきゅう急車を出動させることがある。  
イ
- ・お祭りの時には、交通せい理をしている。  
ウ
- ・こう番にきんむしているけいさつかんは、地いきのパトロールをしている。  
エ オ

### ◆解説◆

ア 指令室    イ 救急車    ウ 整理  
エ 交番      オ 警察官

同じ音や同じ部分をもつ漢字を、文や文章の中で正しく使うことができるようになるためには、漢字のもつ意味を考えることが大切です。

(問い) 【ノートの一部】のアからオの部は、どのような漢字を使って書きますか。部と同じ漢字を……部を使って書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア
- 1 テストで実力をためす。
  - 2 柱で屋根を支える。
  - 3 ゆび先が冷える。

◆解説◆

1. 試す
2. 支える
3. 指

- ウ
- 1 つくえの中をととのえる。
  - 2 まちがいなただす。
  - 3 しずかな森から鳥の鳴き声が出

◆解説◆

1. 整える
2. 直す
3. 謝かな

- エ
- 1 こう果的な方法。
  - 2 信号のあるこう差点を右にまがる。
  - 3 こう庭でボール遊びをする。

◆解説◆

1. 効果的
2. 交差点
3. 樹庭

- オ
- 1 胃は消化器かんの一つだ。
  - 2 血の血かんの中を流れている。
  - 3 町の図書かんで本を借りる。

◆解説◆

1. 消化器官
2. 血管
3. 図書館

オ	ウ	ア
1	1	3
	エ	イ
	2	3

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう ①

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りなをふくんでいる場合があります。

問題	解答
(1)けんこうのじょうたいをしんばいする。	健康の 状態を 心配する。
(2)ていりゆうじよでバスをまつ。	停留所で バスを 待つ。
(3)ふくにボタンをとめる。	服に ボタンを 留める。
(4)こつきようをこえる。	国境を こえる。
(5)ひさしぶりにおじさんにあう。	久しぶりに おじさんに 会う。
(6)レジでしょけんをかう。	レジで 食券を 買う。
(7)じてんしゃをしゅうりする。	自転車を 修理する。
(8)たいようをかんそくする。	太陽を 観測する。
(9)じんこうのぶんぶをちようさする。	人口の 分布を 調査する。
(10)でんかせいひんをかう。	電化製品を 買う。
(11)にんげんかんけいをきづく。	人間関係を 築く。
(12)ちかくのやまでさんさいをとる。	近くの 山で 山菜を 採る。
(13)パーティーにしょうたいされる。	パーティーに 招待される。
(14)ボールをなげる。	ボールを 投げる。
(15)じっけんをこころみる。	実験を 試みる。
(16)としょかんでほんをかりる。	図書館で 本を 借りる。
(17)こくこのじかんにてをあげる。	国語の 時間に 手を 挙げる。
(18)びょうにんをたすける。	病人を 助ける。
(19)せいかつをいとなむ。	生活を 営む。
(20)いがいたい。	胃が 痛い。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①～②0」

漢字を正しく書こう ①

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)けんこうの じょうたいを しんぱいする。	
(2)ていりゅうじよで バスを まつ。	
(3)ふくに ボタンを とめる。	
(4)こつきようを こえる。	
(5)ひさしぶりに おじさんに あう。	
(6)レジで しょうけんを かう。	
(7)じてんしゃを しゅうりする。	
(8)たいようを かんそくする。	
(9)じんこうの ぶんぶを ちようさする。	
(10)でんかせいひんを かう。	
(11)にんげんかんけいを きずく。	
(12)ちかくの やまで さんさいを とる。	
(13)パーティーに しょうたいされる。	
(14)ボールを ながる。	
(15)じっけんを こころみる。	
(16)としょかんで ほんを かりる。	
(17)こくごの じかんに てを あげる。	
(18)びようにんを たすける。	
(19)せいかつを いとなむ。	
(20)いが いたい。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

## 漢字を正しく書こう ②

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)やまの たかさを はかる。	山の 高さを 測る。
(2)つみを つぐなう。	罪をつぐなう。
(3)バスが ていしゃする。	バスが 停車する。
(4)にがっきは びかがかりを きぼうする。	二学期は 美化係を 希望する。
(5)よぞらに じんこうえいせいが見える。	夜空に 人工衛星が 見える。
(6)こんちゆうさいしゅうに いく。	こん虫採集に 行く。
(7)せいけつな てで たべる。	清潔な 手で 食べる。
(8)てっこうせきを ゆにゆうする。	鉄鉱石を 輸入する。
(9)がくもんを おさめる。	学問を 修める。
(10)へんかに とむ。	変化に 富む。
(11)いへの けんちく。	家の 建築。
(12)しかいを つとめる。	司会を 務める。
(13)シャワーを あびる。	シャワーを 浴びる。
(14)かおが よく なる。	顔が よく似る。
(15)わたあめを たべる。	綿あめを 食べる。
(16)いちミリ いかは はぶく。	一ミリ 以下は 省く。
(17)きの えだを おる。	木の 枝を 折る。
(18)かいしゃを うんえいする。	会社を 運営する。
(19)きゃくを まねく。	客を 招く。
(20)いけんを のべる。	意見を 述べる。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①～②」

漢字を正しく書こう ②

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)やまの たかさを はかる。	
(2)つみを つぐなう。	
(3)バスが ていしゃする。	
(4)にがっきは びかがかりを きぼうする。	
(5)よぞらに じんこうえいせいが見える。	
(6)こんちゅうさいしゅうに いく。	
(7)せいけつな てで たべる。	
(8)てっこうせきを ゆにゆうする。	
(9)がくもんを おさめる。	
(10)へんかに とむ。	
(11)いへの けんちく。	
(12)しかいを つとめる。	
(13)シャワーを あびる。	
(14)かおが よく なる。	
(15)わたあめを たべる。	
(16)いちミリ いかは はぶく。	
(17)きの えだを おる。	
(18)かいしゃを うんえいする。	
(19)きやくを まねく。	
(20)いけんを のべる。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

漢字を正しく書こう ④

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)おとうとに るすばんを まかす。	弟に 留守番を 任す。
(2)しょうひせい。	消費税。
(3)のうさんぶつを ゆしゅつする。	農産物を 輸出する。
(4)そつぎょうを いわう。	卒業を 祝う。
(5)やくそくの きげんをまもる。	約束の 期限を 守る。
(6)おはかに まいる。	お墓に 参る。
(7)へいきんきおんの へんかを しらべる。	平均気温の 変化を 調べる。
(8)きんじょの ふさいに あいさつをする。	近所の 夫妻に あいさつをする。
(9)いのちの おんじん。	命の 恩人。
(10)こうほうに しりぞく。	後方に 退く。
(11)そぼとの かいわを たのしむ。	祖母との 会話を 楽しむ。
(12)えいきゅうに かわらない。	永久に 変わらない。
(13)もくぞうの こうしゃで すごす。	木造の 校舎で 過ごす。
(14)じんこうが ぞうかする。	人口が 増加する。
(15)いいんちょうの あんに さんせいする。	委員長の 案に 賛成する。
(16)びょういんの いしに なる。	病院の 医師に なる。
(17)すばらしい そざいだ。	すばらしい 素材だ。
(18)か이지の しりょうを くばる。	会議の 資料を 配る。
(19)おんがくかを こころざす。	音楽家を 志す。
(20)チームが だんけつする。	チームが 団結する。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①～②0」

漢字を正しく書こう ④

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)おとうとに るすばんを まかす。	
(2)しょうひぜい。	
(3)のうさんぶつを ゆしゅつする。	
(4)そつぎょうを いわう。	
(5)やくそくの きげんをまもる。	
(6)おはかに まいる。	
(7)へいきんきおんの へんかを しらべる。	
(8)きんじょの ふさいに あいさつをする。	
(9)いのちの おんじん。	
(10)こうほうに しりぞく。	
(11)そばどの かいわを たのしむ。	
(12)えいきゆうに かわらない。	
(13)もくぞうの こうしゃで すこす。	
(14)じんこうが ぞうかする。	
(15)いいんちょうの あんに さんせいする。	
(16)びょういんの いしに なる。	
(17)すばらしい そざいだ。	
(18)かいぎの しりょうを くばる。	
(19)おんがくかを こころざす。	
(20)チームが だんけつする。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう ⑤

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)つねに たいしい。	常に 正しい。
(2)そしきの ひとびとが きょうりよくする。	組織の 人々が 協力する。
(3)とくべつに きよかを もらう。	特別に 許可を もらう。
(4)すぐに こうどうに うつつ。	すぐに 行動に 移す。
(5)ぶんに くてんを つける。	文に 句点を 付ける。
(6)がいこくとの ぼうえき。	外国との 貿易。
(7)ストーブの ねんりょうが たりる。	ストーブの 燃料が 足りる。
(8)かいぎの ばを もうける。	会議の 場を 設ける。
(9)しつもんする。	質問する。
(10)くすりが よく きく。	薬が よく 効く。
(11)ちけいの だんめんずを しらべる。	地形の 断面図を 調べる。
(12)ちようさの けっかを ほうこくする。	調査の 結果を 報告する。
(13)どうぶつの ほごに どりよくする。	動物の 保護に 努力する。
(14)さぎようの じゅんじよを せつめいする。	作業の 順序を 説明する。
(15)あすは いえに いる。	明日は 家に 居る。
(16)こらいの ふうしゅうを でんしようする。	古来の 風習を 伝承する。
(17)かぜを よぼうする。	かぜを 予防する。
(18)てきが すがたを あらわす。	敵が 姿を 現す。
(19)どうメダル。	銅メダル。
(20)こんげつの りえきは おおきい。	今月の 利益は 大きい。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう」五年生で習う漢字「漢字を正しく読もう・書こう①～⑳」

漢字を正しく書こう ⑤

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)つねに ただしい。	
(2)そしきの ひとびとが きょうりよくする。	
(3)とくべつに きよかを もらう。	
(4)すぐに こうどうに うつつ。	
(5)ぶんにくてんをつける。	
(6)がいこくどの ぼうえき。	
(7)ストープの ねんりょうが たりる。	
(8)かいぎの ばを もうける。	
(9)しつもんする。	
(10)くすりが よく きく。	
(11)ちけいの だんめんずを しらべる。	
(12)ちようさの けっかを ほうこくする。	
(13)どうぶつの ほごに どりよくする。	
(14)さぎょうの じゅんじよを せつめいする。	
(15)あすは いえに いる。	
(16)こらいの ふうしゅうを でんしようする。	
(17)かぜを よぼうする。	
(18)てきが すがたを あらわす。	
(19)どうメダル。	
(20)こんげつの りえきは おおきい。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう ⑥

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1) たんぺんしゅうを よむ。	短編集を 読む。
(2) みせを かまえる。	店を 構える。
(3) じっさいに ひこうが かのうだ。	実際に 飛行が 可能だ。
(4) ほんを しゅっぱんする。	本を 出版する。
(5) こころよく ひきうける。	快く 引き受ける。
(6) とちを こやす。	土地を 肥やす。
(7) いえと としょかんを おうふくする。	家と 図書館を 往復する。
(8) ぶしやぶるい。	武者ぶるい。
(9) にげる はんにんを おう。	逃げる 犯人を 追う。
(10) じどうかいで えんぜつする。	児童会で 演説する。
(11) ひとに ほんを かす。	人に 本を 貸す。
(12) たんさんすいを のむ。	炭酸水を 飲む。
(13) ぼうふうに そなえる ぼうふうりん。	暴風に 備える 防風林。
(14) ひとの しっぱいを ゆるす。	人の 失敗を 許す。
(15) えきが こんざつする。	駅が 混雑する。
(16) かこ、げんざい、みらい。	過去、現在、未来。
(17) むちゆうに なって あそぶ。	夢中になっ て 遊ぶ。
(18) よぶんに よういする。	余分に 用意する。
(19) きそくを まもる。	規則を 守る。
(20) しゅごと じゅつ。	主語と 述語。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう」五年生で習う漢字「漢字を正しく読もう・書こう①～⑳」

漢字を正しく書こう ⑥

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1) たんぺんしゅうを よむ。	
(2) みせを かまえる。	
(3) じっさいに ひこうが かのうだ。	
(4) ほんを しゅっぱんする。	
(5) こころよく ひきうける。	
(6) とちを こやす。	
(7) いえと としょかんを おうふくする。	
(8) むしゃぶるい。	
(9) にげる はんにんを おう。	
(10) じどうかいで えんぜつする。	
(11) ひとに ほんを かす。	
(12) たんさんすいを のむ。	
(13) ぼうふうに そなえる ぼうふうりん。	
(14) ひとの しっぱいを ゆるす。	
(15) えきが こんざつする。	
(16) かこ、げんざい、みらい。	
(17) おちゅうに なって あそぶ。	
(18) よぶんに よういする。	
(19) きそくを まもる。	
(20) しゅごと じゅつこ。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう ⑦

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1) いしゃが けつえきを しらべる。	医者が 血液を 調べる。
(2) あんぜんを たしかめる。	安全を 確かめる。
(3) しあい で せんせい てんを とる。	試合で 先制点を 取る。
(4) なさけぶかい ひとだ。	情け深い 人だ。
(5) みんなで よせがきを する。	みんなで 寄せ書きを する。
(6) サッカークラブに しよぞくする。	サッカークラブに 所属する。
(7) えきの こうない。	駅の 構内。
(8) ほいくしよの せんせいに さいかいする。	保育所の 先生に 再会する。
(9) なつが すぎる。	夏が 過ぎる。
(10) いけんを ていあんする。	意見を 提案する。
(11) ひじょうぐちから にげる。	非常口から 逃げる。
(12) ぶあつい じしよを かう。	分厚い 辞書を 買う。
(13) ひとどおりが たえない。	人通りが 絶えない。
(14) とかいへ、 てんきよする。	都会へ 転居する。
(15) みぎへ いどうする。	右へ 移動する。
(16) そんがいを うける。	損害を 受ける。
(17) ぎんこうに よきんが ある。	銀行に 預金がある。
(18) でんわに ぎつおんが まじる。	電話に 雑音が 混じる。
(19) やさしい もんだいを とく。	易しい 問題を 解く。
(20) じんこうが げんしょうする。	人口が 減少する。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①～⑳」

漢字を正しく書こう ⑦

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1)いしやが けつえきを しらべる。	
(2)あんぜんを たしかめる。	
(3)しあい で せんせいてんを とる。	
(4)なさけぶかい ひとだ。	
(5)みんなで よせがきを する。	
(6)サッカークラブに しょぞくする。	
(7)えきの こうない。	
(8)ほいくしよの せんせいに さいかいする。	
(9)なつが すぎる。	
(10)いけんを ていあんする。	
(11)ひじょうぐちから にげる。	
(12)ぶあつい じしよを かう。	
(13)ひとどおりが たえない。	
(14)とかいへ、 てんきよする。	
(15)みぎへ いどうする。	
(16)そんがいを うける。	
(17)ぎんこうに よきんが ある。	
(18)でんわに ぎつおんが まじる。	
(19)やさしい もんだいを とく。	
(20)じんこうが げんしょうする。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう ⑧

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の——部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。——部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1) やさいに ひりょうを まく。	野菜に 肥料を まく。
(2) よさんが あまる。	予算が 余る。
(3) じけんが かいけつされる。	事件が 解決される。
(4) ここからの ながめは ぜっけいだ。	ここからの ながめは 絶景だ。
(5) いえの ちかくの せんとうへ いく。	家の 近くの 銭湯へ 行く。
(6) ひょうばんの よい みせに はいる。	評判の よい 店に 入る。
(7) ごみを へらす。	ごみを 減らす。
(8) かこうには さかなが たくさん いる。	河口には 魚が たくさん いる。
(9) ふくすうの いけんが ある。	複数の 意見が ある。
(10) かみを やぶる。	紙を 破る。
(11) あじが まざる。	味が 混ざる
(12) あんいに かんがえる。	安易に 考える。
(13) たちいりきんし。	立ち入り禁止。
(14) ぎんこうに おかねを あずける。	銀行に お金を 預ける。
(15) ていきてきに てんけんする。	定期的に 点検する。
(16) かんがえを のべる。	考えを 述べる。
(17) やくひんの こうかを しらべる。	薬品の 効果を 調べる。
(18) やまの うえに つきが あらわれる。	山の 上に 月が 現れる。
(19) かいぎへの さんかを ことわる。	会議への 参加を 断る。
(20) かならず じっこうする。	必ず 実行する。

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①～⑳」

漢字を正しく書こう ⑧

年 組 番 名前 ( )

(1)から(20)までの文の――部のひらがなを漢字に直して、文を書き直しましょう。――部は、送りがなをふくんでいる場合があります。

問 題	解 答
(1) やさいに ひりょうを まく。	
(2) よさんが あまる。	
(3) じけんが かいけつされる。	
(4) ここからの ながめは ぜっけいだ。	
(5) いえの ちかくの せんとうへ いく。	
(6) ひょうばんの よい みせに はいる。	
(7) ごみを へらす。	
(8) かこうには さかなが たくさん いる。	
(9) ふくすうの いけんが ある。	
(10) かみを やぶる。	
(11) あじが まざる。	
(12) あんいに かんがえる。	
(13) たちいりきんし。	
(14) きんこうに おかねを あずける。	
(15) ていきてきに てんけんする。	
(16) かんがえを のべる。	
(17) やくひんの こうかを しらべる。	
(18) やまの うえに つきが あらわれる。	
(19) かいぎへの さんかを ことわる。	
(20) かならず じっこうする。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

## 漢字を正しく読もう

年 組 番 名前 ( )

次の(1)から(20)の——部の漢字の読みを、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

問 題	解 答
(1)冬から春へ季節が移る。	うつ
(2)暴力を許さない。	ゆる
(3)むだを省くようにする。	はぶ
(4)新しいビルを建築する。	けんちく
(5)子孫のためにゴミをへらす。	しそん
(6)街灯がつく。	がいとう
(7)全員がすぐに承知した。	しょうち
(8)駅は混雑している。	こんざつ
(9)リーダーとして勝利に導く。	みちび
(10)植物を採集する。	さいしゅう
(11)すばらしい演技におどろく。	えんぎ
(12)親から独立してくらす。	どくりつ
(13)道路の標識をみる。	ひょうしき
(14)今日は全国的に快晴だ。	かいせい
(15)勢いよく走り出す。	いきお
(16)挙手して発言する。	きよしゅ
(17)改行しながら書きたしていく。	かいぎよう
(18)さか上がりを試みる。	こころ
(19)新緑の季節になる。	しんりよく
(20)額に大つぶのあせをかく。	ひたい

〈関連するワークシート〉平成26・27・28年度 第六学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「漢字を正しく読もう・書こう 五年生で習う漢字」「漢字を正しく読もう・書こう①〜②0」

# 漢字を正しく読もう

年 組 番 名前 ( )

次の(1)から(20)の——部の漢字の読みを、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

問 題	解 答
(1)冬から春へ季節が移る。	
(2)暴力を許さない。	
(3)おだを省くようにする。	
(4)新しいビルを建築する。	
(5)子孫のためにゴミをへらす。	
(6)街灯がつく。	
(7)全員がすぐに承知した。	
(8)駅は混雑している。	
(9)リーダーとして勝利に導く。	
(10)植物を採集する。	
(11)すばらしい演技におどろく。	
(12)親から独立してくらす。	
(13)道路の標識をみる。	
(14)今日は全国的に快晴だ。	
(15)勢いよく走り出す。	
(16)挙手して発言する。	
(17)改行しながら書きたしていく。	
(18)さか上がりを試みる。	
(19)新緑の季節になる。	
(20)額に大つぶのあせをかく。	

# 漢字を正しく読もう・書こう①

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	たき木を もやす。		
②	ストーブの ねんりようが たりる。		
③	みらいが どうなるかを そうぞうする。		
④	じけんが かいけつされる。		
⑤	むずかしい もんだいを とく。		
⑥	おとうとは ほがらかな せいかくだ。		
⑦	みんなで よせがきを する。		
⑧	としよかんに よる。		
⑨	ぶんに くてんを つける。		
⑩	カメレオンは したで むしを とる。		
⑪	ぶんしょうの こうせいを かんがえる。		
⑫	みせを かまえる。		
⑬	しゅごと じゅつじ。		
⑭	かんがえを のべる。		
⑮	ゆめが かなう。		
⑯	やまの うえに つきが あらわれる。		
⑰	てきが すがたを あらわす。		
⑱	たんぺんしゅうを よむ。		

# 漢字を正しく読もう・書こう①

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	たき木を もやす。	たき木を 燃やす。	
②	ストーブの ねんりようが たりる。	ストーブの 燃料が 足りる。	
③	みらいが どうなるかを そうぞうする。	未来が どうなるかを 想像す	
④	じけんが かいけつされる。	事件が 解決される。	
⑤	むずかしい もんだいを とく。	むずかしい 問題を 解く。	
⑥	おとうとは ほがらかな せいかくだ。	弟は ほがらかな 性格だ。	
⑦	みんなで よせがきを する。	みんなで 寄せ書きを する。	
⑧	としよかんに よる。	図書館に 寄る。	
⑨	ぶんに くてんを つける。	文に 句点を 付ける。	
⑩	カメレオンは したで むしを とる。	カメレオンは 舌で 虫を と	
⑪	ぶんしょうの こうせいを かんがえる。	文章の 構成を 考える。	
⑫	みせを かまえる。	店を 構える。	
⑬	しゅごと じゅつご。	主語と 述語。	
⑭	かんがえを のべる。	考えを 述べる。	
⑮	ゆめが かなう。	夢が かなう。	
⑯	やまの うえに つきが あらわれる。	山の 上に 月が 現れる。	
⑰	てきが すがたを あらわす。	敵が 姿を 現す。	
⑱	たんぺんしゅうを よむ。	短編集を 読む。	

# 漢字を正しく読もう・書こう②

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	けいとであむ。		
②	えんしゅうりつをおぼえる。		
③	やきゅうのチームをひきいる。		
④	しんぶんのちょうかんをよむ。		
⑤	てじなにきょうみがある。		
⑥	こうふんしたようすではなす。		
⑦	おおまかなないようをしる。		
⑧	せんせいにほうこくする。		
⑨	まちあわせの時こくをしていする。		
⑩	ばしよをしめすしるしをさがす。		
⑪	ぎゃくてんのヒットをうつ。		
⑫	さかだちをする。		
⑬	ながれにさからう。		
⑭	せつめいをしゅうりやくする。		
⑮	たいふうへのたいおうをいそぐ。		
⑯	やきゅうのきほんをまなぶ。		
⑰	しよくじのさらをじゅんびする。		
⑱	わたしはぜったいにかつ。		

# 漢字を正しく読もう・書こう②

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	けいとであむ。	毛糸で編む。	
②	えんしゅうりつをおぼえる。	円周率を覚える。	
③	やきゅうのチームをひきいる。	野球のチームを率いる。	
④	しんぶんのちようかんをよむ。	新聞の朝刊を読む。	
⑤	てじなにきようみがある。	手品に興味がある。	
⑥	こうふんしたようすではなす。	興奮した様子で話す。	
⑦	おおまかなないようをしる。	おおまかな内容を知る。	
⑧	せんせいにほうこくする。	先生に報告する。	
⑨	まちあわせの時こくをしていする。	待ち合わせの時こくを指定する。	
⑩	ばしよをしめすしるしをさがす。	場所を示す印をさがす。	
⑪	ぎやくてんのヒットをうつ。	逆転のヒットを打つ。	
⑫	さかだちをする。	逆立ちをする。	
⑬	ながれにさからう。	流れに逆らう。	
⑭	せつめいをしよりやくする。	説明を省略する。	
⑮	たいふうへのたいおうをいそぐ。	台風への対応を急ぐ。	
⑯	やきゅうのきほんをまなぶ。	野球の基本を学ぶ。	
⑰	しよくじのさらをじゅんびする。	食事の皿を準備する。	
⑱	わたしはぜったいにかつ。	私は絶対に勝つ。	

# 漢字を正しく読もう・書こう③

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ひとどおりが たえない。		
②	火を たやす。		
③	ここからの ながめは ぜっけいだ。		
④	ひょうばんの よい みせに はいる。		
⑤	こうかくのはんていを もらう。		
⑥	とくべつに きよかを もらう。		
⑦	ひとの しつぱいを ゆるす。		
⑧	かこうには さかなが たくさん いる。		
⑨	みぎへ いどうする。		
⑩	すぐに 行動に うつつ。		
⑪	ぎんこうに おかねを あずける。		
⑫	ぎんこうに よきんが ある。		
⑬	どうメダル。		
⑭	がいこくとの ぼうえき。		
⑮	あんいに かんがえる。		
⑯	やさしい もんだいを とく。		
⑰	こくさいかいぎ。		
⑱	かこい げんざい、みらい。		

# 漢字を正しく読もう・書こう③

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ひとどおりが たえない。	人通りが 絶えない。	
②	火を たやす。	火を 絶やす。	
③	ここからの ながめは ぜっけいだ。	ここからの ながめは 絶景だ。	
④	ひょうばんの よい みせに はいる。	評判の よい 店に入る。	
⑤	こうかくのはんていを もらう。	合格の 判定を もらう。	
⑥	とくべつに きよかを もらう。	特別に 許可を もらう。	
⑦	ひとの しっぱいを ゆるす。	人の 失敗を 許す。	
⑧	かこうには さかなが たくさん いる。	河口には 魚が たくさん いる。	
⑨	みぎへ いどうする。	右へ 移動する。	
⑩	すぐに 行動に うつつ。	すぐに 行動に 移す。	
⑪	ぎんこうに おかねを あずける。	銀行に お金を 預ける。	
⑫	ぎんこうに よきんが ある。	銀行に 預金が ある。	
⑬	どうメダル。	銅メダル。	
⑭	がいこくとの ぼうえき。	外国との 貿易。	
⑮	あんいに かんがえる。	安易に 考える。	
⑯	やさしい もんだいを とく。	易しい 問題を 解く。	
⑰	こくさいかいぎ。	国際会議。	
⑱	かこ げんざい、みらい。	過去、現在、未来。	

# 漢字を正しく読もう・書こう④

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	かいぎの ほうほうを そうだんする。		
②	しんかんせんに のる。		
③	きの みきに のぼる。		
④	きの えだを きる。		
⑤	じっけんの まえに かせつを たてる。		
⑥	かりに、そうだとしたら うれしい。		
⑦	みずの りょうを ちようせつする。		
⑧	ほうせきを きんこに ほかんする。		
⑨	しんしんの けんこうを たもつ。		
⑩	どくじの はんだんで きめる。		
⑪	ことしは ほうさくだ。		
⑫	ゆたかな しゃかいせいかつを おくる。		
⑬	ちよくれつつなぎと へいれつつなぎ。		
⑭	ひたいが かゆい。		
⑮	たいふうに そなえる。		
⑯	たのしい けいけんを する。		
⑰	ねんげつを へる。		
⑱	ビルの けんせつが すすむ。		

# 漢字を正しく読もう・書こう④

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	かいぎの ほうほうを そうだんする。	会議の 方法を 相談する。	
②	しんかんせんに のる。	新幹線に 乗る。	
③	きの みき。	木の 幹。	
④	きの えだを きる。	木の 枝を 切る。	
⑤	じっけんの まえに かせつを たてる。	実験の 前に 仮説を たてる。	
⑥	かりに、そうだとしたら うれしい。	仮に そうだとしたら うれしい。	
⑦	みずの りょうを ちようせつする。	水の 量を 調節する。	
⑧	ほうせきを きんこに ほかんする。	宝石を 金庫に 保管する。	
⑨	しんしんの けんこうを たもつ。	心身の 健康を 保つ。	
⑩	どくじの はんだんで きめる。	独自の 判断で 決める。	
⑪	ことしは ほうさくだ。	今年は 豊作だ。	
⑫	ゆたかな しゃかいせいかつを おくる。	豊かな 社会生活を 送る。	
⑬	ちよくれつつなぎと へいれつつなぎ。	直列つなぎと へい列つなぎ。	
⑭	ひたいが かゆい。	額が かゆい。	
⑮	たいふうに そなえる。	台風に 備える。	
⑯	たのしい けいけんを する。	楽しい 経験を する	
⑰	ねんげつを へる。	年月を 経る。	
⑱	ビルの けんせつが すすむ。	ビルの 建設が 進む。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑤

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	かいぎの ばを もうける。		
②	しつもんを する。		
③	せいかくに けいさんを する。		
④	あんぜんを たしかめる。		
⑤	じょうほうを あつめる。		
⑥	なさけぶかい ひとだ。		
⑦	くすりが よく きく。		
⑧	やくひんの こうかを しらべる。		
⑨	サッカークラブに しよぞくする。		
⑩	ほいくしよの せんせいに さいかいする。		
⑪	ふたび たずねる。		
⑫	むちゆうに なって あそぶ。		
⑬	ゆめを みる		
⑭	ちけいの だんめんずを しらべる。		
⑮	かいぎへの さんかを ことわる。		
⑯	よさんが あまる。		
⑰	よぶんに よういを する。		
⑱	かぜを よぼうする。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑤

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	かいぎの ばを もうける。	会議の 場を 設ける。	
②	しつもんを する。	質問を する。	
③	せいかくに けいさんを する。	正確に 計算を する。	
④	あんぜんを たしかめる。	安全を 確かめる。	
⑤	じようほうを あつめる。	情報を 集める。	
⑥	なさけぶかい ひとだ。	情け深い 人だ。	
⑦	くすりが よく きく。	薬が よく 効く。	
⑧	やくひんの こうかを しらべる。	薬品の 効果を 調べる。	
⑨	サッカークラブに しょぞくする。	サッカークラブに 所属する。	
⑩	ほいくしよの せんせいに さいかいする。	保育所の 先生に 再会する。	
⑪	ふたび たずねる。	再び たずねる。	
⑫	むちゆうに なって あそぶ。	夢中になっ て 遊ぶ。	
⑬	ゆめを みる	夢を 見る。	
⑭	ちけいの だんめんずを しらべる。	地形の 断面図を 調べる。	
⑮	かいぎへの さんかを ことわる。	会議への 参加を 断る。	
⑯	よさんが あまる。	予算が 余る。	
⑰	よぶんに よういを する。	余分に 用意を する。	
⑱	かぜを よぼうする。	かぜを 予防する。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑥

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	さむさを ふせぐ。		
②	せきにんを はたす。		
③	じぶんの しっぱいを せめる。		
④	がつきゆういいんに にんめいする。		
⑤	しごとを まかせる。		
⑥	すばらしい こうせきを のこす。		
⑦	ゆういきな いちにちを すごす。		
⑧	せいぶつがくの ちしきを ふやす。		
⑨	いつも みんなに かんしゃする。		
⑩	じたいが きゆうへんする。		
⑪	かえるの てんてきは へびだ。		
⑫	くの せいじに かんしんがある。		
⑬	ざいりょうを ませる。		
⑭	でんしゃが こむ。		
⑮	いきおいが ある。		
⑯	おおぜいの ひとに せつめいをする。		
⑰	しよくいんこつ。		
⑱	こじんぞ ちぎょうを つづける。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑥

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	さむさを ぶせぐ。	寒さを 防ぐ。	
②	せきんにを はたす。	責任を 果たす。	
③	じぶんの しっぱいを せめる。	自分の 失敗を 責める。	
④	がつきゆういいんに にんめいする。	学級委員に 任命する。	
⑤	しごをを まかせる。	仕事を 任せる。	
⑥	すばらしい こうせきを のこす。	すばらしい 功績を 残す。	
⑦	ゆういぎな いちにちを すごす。	有意義な 一日を 過ごす。	
⑧	せいぶつがくの ちしきを ふやす。	生物学の 知識を 増やす。	
⑨	いつも みんなに かんしゃする。	いつも みんなに 感謝する。	
⑩	じたいが きゆうへんする。	事態が 急変する。	
⑪	かえるの てんてきは へびだ。	かえるの 天敵は へびだ。	
⑫	かんきようもんだいに かんしんがある。	かん境問題に 関心がある。	
⑬	ざいりようを まぜる。	材料を 混ぜる。	
⑭	でんしゃが こむ。	電車が 混む。	
⑮	いきおいが ある。	勢いが ある。	
⑯	おおぜいの ひとに せつめいをする。	大勢の 人に 説明をする。	
⑰	しよくいんしつ。	職員室。	
⑱	こじんできぎようを つづける。	一人で 作業を 続ける。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑦

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ちようさの けつかを ほうこくする。		
②	どうぶつの ほんに どりよくする。		
③	きそくを まもる。		
④	いけんを ていあんする。		
⑤	ていきてきに てんけんを する。		
⑥	さぎようの じゅんじよを せつめいする。		
⑦	ぶあつい じしよを かう。		
⑧	どうとくの じゆぎよう。		
⑨	きゆうどうぞいの こうえんで あそぶ。		
⑩	とかいへ てんきよする。		
⑪	あすは いえに いる。		
⑫	がんかの びよういんへ かよう。		
⑬	ひじょうぐちから にげる。		
⑭	つねに ただしい。		
⑮	ぬのを やぶる。		
⑯	ながい しょうせつを どくはする。		
⑰	そんがいを うける。		
⑱	こらいの ふうしゆうを べんしやうする。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑦

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ちようさの けつかを ほうこくする。	調査の 結果を 報告する。	
②	どうぶつの ほんに どりよくする。	動物の 保護に 努力する。	
③	きそくを まもる。	規則を 守る。	
④	いけんを ていあんする。	意見を 提案する。	
⑤	ていきてきに てんけんを する。	定期的に 点検を する。	
⑥	さぎようの じゅんじよを せつめいする。	作業の 順序を 説明する。	
⑦	ぶあつい じしよを かう。	分厚い 辞書を 買う。	
⑧	どうとくの じゆぎよう。	道徳の 授業。	
⑨	きゆうどうぞいの こうえんで あそぶ。	旧道ぞいの 公園で 遊ぶ。	
⑩	とかいへ、 てんきよする。	都会へ 転居する。	
⑪	あすは いえに いる。	明日は 家に 居る。	
⑫	がんかの びよういんへ かよう。	眼科の 病院へ 通う。	
⑬	ひじょうぐちから にげる。	非常口から 逃げる。	
⑭	つねに だだし。	常に 正しい。	
⑮	ぬのを やぶる。	布を 破る。	
⑯	ながい しようせつを どくはする。	長い 小説を 読破する。	
⑰	そんがいを うける。	損害を 受ける。	
⑱	こらいの ふうしゅうを ぜんしようする。	古来の 風習を 伝承する。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑧

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ぬのを おる。		
②	そしきの ひとびとが きょうりよくする。		
③	こうつうじこに きを つける。		
④	いしやが けつえきを しらべる。		
⑤	みちに まよう。		
⑥	こんげつの りえきは おおきい。		
⑦	ふくすうの にんずうで おこなう。		
⑧	じょうけんを まもる。		
⑨	ひとの いけんに さんせいする。		
⑩	なつが すぎる。		
⑪	えきが こんざつする。		
⑫	でんわに ざつおんが まじる。		
⑬	あじが まざる。		
⑭	じっさいに ひこうが かのうだ。		
⑮	ほんを しゅっぱんする。		
⑯	たちいりきんし。		
⑰	ひとに ほんを かす。		
⑱	こころよい おんどに ちようせいする。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑧

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ぬのを おる。	布を 織る。	
②	そしきの ひとびとが きょうりよくする。	組織の 人々が 協力する。	
③	こうつうじこに きを つける。	交通事故に 気を つける。	
④	いしやが けつえきを しらべる。	医者が 血液を 調べる。	
⑤	みちに まよう。	道に 迷う。	
⑥	こんげつの りえきは おおきい。	今月の 利益は 大きい。	
⑦	ふくすうの にんずうで おこなう。	複数の 人数で 行う。	
⑧	じょうけんを まもる。	条件を 守る。	
⑨	ひとの いけんに さんせいする。	人の 意見に 賛成する。	
⑩	なつが すぎる。	夏が 過ぎる。	
⑪	えきが こんざつする。	駅が 混雑する。	
⑫	でんわに ざつおんが まじる。	電話に 雑音が 混じる	
⑬	あじが まざる。	味が 混ざる。	
⑭	じっさいに ひこうが かのうだ。	実際に 飛行が 可能だ。	
⑮	ほんを しゅっぱんする。	本を 出版する。	
⑯	たちいりきんし。	立ち入り禁止。	
⑰	ひとに ほんを かす。	人に 本を 貸す。	
⑱	こころよい おんどに ちようせいする。	快い 温度に 調整する。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑨

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	てんきよほうでは あすは かいせいだ。		
②	とりの たいぐん。		
③	さかなが むれる。		
④	ありが むらがる。		
⑤	そうぞうりよくが ゆたかだ。		
⑥	みちが けわしい。		
⑦	危けんな こうどうは しない。		
⑧	とうきように しゅつちようする。		
⑨	いとを ひっぱる。		
⑩	なかまを しどうする。		
⑪	むれを みちびく。		
⑫	タニシを ごひようも あつめる。		
⑬	おもい こめだわらを はらぶ。		
⑭	どうぶつを しいくする。		
⑮	うしを かいならす。		
⑯	うめの かべんが ちる。		
⑰	かんがえを くらげる。		
⑱	ふたつの かんがえを たいひする。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑨

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	てんきよほうでは あすは かいせいだ。	天気予報では 明日は 快晴だ。	
②	とりの たいぐん。	鳥の 大群。	
③	さかなが むれる。	魚が 群れる。	
④	ありが むらがる。	ありが 群がる。	
⑤	そうぞうりよくが ゆたかだ。	想像力が 豊かだ。	
⑥	みちが けわしい。	道が 険しい。	
⑦	危けんな こうどうは しない。	危険な 行動は しない。	
⑧	とうきように しゅつちようする。	東京に 出張する。	
⑨	いとを ひっぱる。	糸を 引っ張る。	
⑩	なかまを しどうする。	仲間を 指導する。	
⑪	むれを みちびく。	群れを 導く。	
⑫	タニシを ごひようも あつめる。	タニシを 五俵も 集める。	
⑬	おもい こめだわらを はこぶ。	重い 米俵を 運ぶ。	
⑭	どうぶつを しいくする。	動物を 飼育する。	
⑮	うしを かいならす。	牛を 飼いならす。	
⑯	うめの かべんが ちる。	梅の 花弁が 散る。	
⑰	かんがえを くらべる。	考えを 比べる。	
⑱	ふたつの かんがえを たいひする。	二つの 考えを 対比する。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑩

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ぎじゆつが しんぼする		
②	ぶんかざいを まもる。		
③	ていりゆうじよで バスを まつ。		
④	バスが ていしやする。		
⑤	おとうとに るすばんを まかす。		
⑥	ふくに ボタンを とめる。		
⑦	そぼとの かいわを たのしむ。		
⑧	かんしやを する。		
⑨	つみを つぐなう。		
⑩	えいきゆうに かわらない。		
⑪	すえながい こうぶくを いわう。		
⑫	ひさしぶりに おじさんに あう。		
⑬	レジで しょっけんを かう。		
⑭	せいかつを いとなむ。		
⑮	かいしやを うんえいする。		
⑯	さかなを やく。		
⑰	きんじよの ふさいに あいさつをする。		
⑱	ふじんふくを かう。		

## 漢字を正しく読もう・書こう⑩

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましよう。

問	題	解	答
①	ぎじゅつが しんぼする	技術が 進歩する。	
②	ぶんかざいを まもる。	文化財を 守る。	
③	ていりゆうじよで バスを まつ。	停留所で バスを 待つ。	
④	バスが ていしゃする。	バスが 停車する。	
⑤	おとうとに るすばんを まかす。	弟に 留守番を 任す。	
⑥	ふくに ボタンを とめる。	服に ボタンを 留める。	
⑦	そぼとの かいわを たのしむ。	祖母との 会話を 楽しむ。	
⑧	かんしゃを する。	感謝を する。	
⑨	つみを つぐなう。	罪をつぐなう。	
⑩	えいきゆうに かわらない。	永久に 変わらない。	
⑪	すえながい こうふくを いわう。	末永い 幸福を 祝う。	
⑫	ひさしぶりに おじさんに あう。	久しぶりに おじさんに 会う。	
⑬	レジで しょっけんを かう。	レジで 食券を 買う。	
⑭	せいかつを いとなむ。	生活を 営む。	
⑮	かいしゃを うんえいする。	会社を 運営する。	
⑯	さかなを やく。	魚を 焼く。	
⑰	きんじよの ふさいに あいさつをする。	近所の 夫妻に あいさつをする。	
⑱	ふじんふくを かう。	婦人服を 買う。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑪

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	へいきんきおんの へんかを しらべる。		
②	たいようを かんそくする。		
③	しんちようを はかる。		
④	じんこうの ぶんぶを ちようさする。		
⑤	よぞらに じんこうせいせいが みえる。		
⑥	けんこうの じようたいを しんぱいする。		
⑦	こつきようを こえて とりくむ。		
⑧	はたけと みちの さかいを きめる。		
⑨	とみを える。		
⑩	へんかに とむ。		
⑪	ざいりようが ほうふに ある。		
⑫	けいさんの せいどを たかめる。		
⑬	かいぎの しりようを くばる。		
⑭	じてんしゃを しゅうりする。		
⑮	がくもんを おさめる。		
⑯	じこが おきた げんいんを しらべる。		
⑰	でんかせいひんを かう。		
⑱	みえけんの でんとうぶんかを まなぶ。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑪

年 組 番 名前

次の問題①～⑱のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましよう。

問	題	解	答
①	へいきんきおんの へんかを しらべる。	平均気温の 変化を 調べる。	
②	たいようを かんそくする。	太陽を 観測する。	
③	しんちようを はかる。	身長を 測る。	
④	じんこうの ぶんぶを ちようさする。	人口の 分布を 調査する。	
⑤	よぞらに じんこうえいせいが見える。	夜空に 人工衛星が 見える。	
⑥	けんこうの じようたいを しんぱいする。	健康の 状態を 心配する。	
⑦	こつきようを こえて とりくむ。	国境を こえて 取り組む。	
⑧	はたけと みの さかいを きめる。	畑と 道の 境を 決める。	
⑨	とみを える。	富を 得る。	
⑩	へんかに とむ。	変化に 富む。	
⑪	ざいりようが ほうふにある。	材料が 豊富に ある。	
⑫	けいさんの せいを たかめる。	計算の 精度を 高める。	
⑬	かいぎの しりようを くばる。	会議の 資料を 配る。	
⑭	じてんしゃを しゅうりする	自転車を 修理する。	
⑮	がくもんを おさめる。	学問を 修める。	
⑯	じこが おきた げんいんを しらべる。	事故が 起きた 原因を 調べる。	
⑰	でんかせいひんを かう。	電化製品を 買う。	
⑱	みえけんの でんとうぶんかを まなぶ。	三重県の 伝統文化を 学ぶ。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑫

年 組 番 名前

次の問題①～⑫のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ごみを へらす。		
②	じんこうが げんしょうする。		
③	じこが へる。		
④	てきせつに こうどうする。		
⑤	やさいに ひりょうを まく。		
⑥	つちが よく こえる。		
⑦	こえを つちに まぜる。		
⑧	とちを こやす。		
⑨	こやしを まく。		
⑩	いえと としよかんを おうふくする。		
⑪	ぶどうを まなぶ。		
⑫	むしやぶるい。		
⑬	にげる はんにんを おう。		
⑭	じどうかいで えんぜつを する。		
⑮	しあい で せんせいてんを とる。		
⑯	たんさんすいを のむ。		
⑰	みんなで せんとうへ いく。		
⑱	ぼうふうに そなえる ぼうふうりん。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑫

年 組 番 名前

次の問題①～⑫のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	ごみを へらす。	ごみを 減らす。	
②	じんこうが げんしようする。	人口が 減少する。	
③	じこが へる。	事故が 減る。	
④	てきせつに こうどうする。	適切に 行動する。	
⑤	やさいに ひりょうを まく。	野菜に 肥料を まく。	
⑥	つちが よく こえる。	土が よく 肥える。	
⑦	こえを つちに まぜる。	肥を 土に 混ぜる。	
⑧	とちを こやす。	土地を 肥やす。	
⑨	こやしを まく。	肥やしを まく。	
⑩	いえと としよかんを おうふくする。	家と 図書館を 往復する。	
⑪	ぶどうを まなぶ。	武道を 学ぶ。	
⑫	むしやぶるい。	武者ぶるい。	
⑬	にげる はんにんを おう。	逃げる 犯人を 追う。	
⑭	じどうかいで えんせつを する。	児童会で 演説を する。	
⑮	しあいだ せんせいてんを とる。	試合で 先制点を 取る。	
⑯	たんさんすいを のむ。	炭酸水を 飲む。	
⑰	みんなで せんとうへ いく。	みんなで 銭湯へ 行く。	
⑱	ぼうふうに そなえる ぼうふうりん。	暴風に 備える 防風林。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑬

年 組 番 名前

次の問題①～⑬のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	てっこうせきを ゆにゆうする。		
②	おんがくかを こころざす。		
③	こころろざしを つらぬく。		
④	にがつきは ぴかがかりを しぼうする。		
⑤	びょういんの いしに なる。		
⑥	ただしさを しょうめいする。		
⑦	もくぞうの こうしゃで すごす。		
⑧	じんこうが ぞうかする。		
⑨	みずかさが ます。		
⑩	ごみが ふえる。		
⑪	にんずうを ふやす。		
⑫	つばめが こうしゃに すを つくる。		
⑬	いへの けんちく。		
⑭	にんげんかんけいを きざく。		
⑮	ごごの こうえんかいに さんかする。		
⑯	そうこうてきな がくしゅうの じかん。		
⑰	きの いたに あつりよくを かける。		
⑱	すばらしい そざいだ。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑬

年 組 番 名前

次の問題①～⑬のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	てっこうせきを ゆにゆうする。	鉄鉱石を	輸入する。
②	おんがくかを こころざす。	音楽家を	志す。
③	こころろざしを つらぬく。	志を	つらぬく。
④	にがつきは びかがかりを しほうする。	二期は	美化係を 志望する。
⑤	びょういんの いしになる。	病院の	医師になる。
⑥	ただしさを しょうめいする。	正しさを	証明する。
⑦	もくぞうの こうしゃで すごす。	木造の	校舎で 過ごす。
⑧	じんこうが ぞうかする。	人口が	増加する。
⑨	みずかさが ます。	水かさが	増す。
⑩	ごみが ふえる。	ごみが	増える。
⑪	にんずうを ふやす。	人数を	増やす。
⑫	つばめが こうしゃに すを つくる。	つばめが	校舎に 巣を作る。
⑬	いえの けんちく。	家の	建築。
⑭	にんげんかんけいを きずく。	人間関係を	築く。
⑮	この こうえんかいに さんかする。	午後の	講演会に 参加する。
⑯	そうこうてきな がくしゅうの じかん。	総合的な	学習の 時間。
⑰	きの いたに あつりよくを かける。	木の板に	圧力を かける。
⑱	すばらしい そざいだ。	すばらしい	素材だ。

# 漢字を正しく読もう・書こう⑭

年 組 番 名前

次の問題①～⑭のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	やくそくの きげんを まもる。		
②	じかんを かぎる。		
③	あには してんちように なった。		
④	しゃかいを ささえる しごとをする。		
⑤	はやおきの しゅうかんを つける。		
⑥	しごとに なれる。		
⑦	すこしずつ からだを ならす。		
⑧	せいけつな てで たべる。		
⑨	かおが よく にる。		
⑩	かかくの やすい しょうひん。		
⑪	けつえきを さいしゅする。		
⑫	やまで さんさいを とる。		
⑬	チームが だんけつする。		
⑭	めんかを ゆにゆうする。		
⑮	わたあめを たべる。		
⑯	パーティーに しょうたいされる。		
⑰	きやくを まねく。		
⑱	おはかに まいる。		

## 漢字を正しく読もう・書こう⑭

年 組 番 名前

次の問題①～⑭のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	やくそくの きげんをまもる。	約束の 期限を 守る。	
②	じかんを かぎる。	時間を 限る。	
③	あには してんちように なった。	兄は 支店長に なった。	
④	しゃかいを ささえる しごとをする。	社会を 支える 仕事をする。	
⑤	はやおきの しゅうかんを つける。	早起きの 習慣を つける。	
⑥	しごとになれる。	仕事に 慣れる。	
⑦	すこしずつ からだを ならす。	少しずつ 体を 慣らす。	
⑧	せいけつな てで たべる。	清潔な 手で 食べる。	
⑨	かおが よく なる。	顔が よく似る。	
⑩	かかくの やすい しょうひん。	価格の 安い 商品。	
⑪	けつえきを さいしゅする。	血液を 採取する。	
⑫	やまで さんさいをとる。	山で 山菜を 採る。	
⑬	チームが だんけつする。	チームが 団結する。	
⑭	めんかを ゆにゆうする。	綿花を 輸入する。	
⑮	わたあめを たべる。	綿あめを 食べる。	
⑯	パーティーにし ようたいされる。	パーティーに 招待される。	
⑰	きやくを まねく。	客を 招く。	
⑱	おはかに まいる。	お墓に 参る。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑮

年 組 番 名前

次の問題①～⑮のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	はかに はなを そなえる。		
②	しょうひぜい。		
③	とちを たがやす。		
④	のうこうちたい。		
⑤	じむしつに ようじがある。		
⑥	しかいを つとめる。		
⑦	いのちの おんじん。		
⑧	ねんがじょうを だす。		
⑨	ねんぶつを となえる。		
⑩	ほとけの こころ。		
⑪	さくらの きを うえる。		
⑫	びょうきが なおり、たいいんする。		
⑬	こうほうに しりぞく。		
⑭	ようきゆうを しりぞける。		
⑮	シャワーを あびる。		
⑯	ボールを なげる。		
⑰	あいじょう。		
⑱	いいんちょうの あんに さんせいする。		

## 漢字を正しく読もう・書こう⑮

年 組 番 名前

次の問題①～⑮のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	はかに はなを そなえる。	墓に 花を 供える。	
②	しょうひぜい。	消費税。	
③	とちを たがやす。	土地を 耕す。	
④	うこうちたい。	農耕地帯。	
⑤	じむしつに ようじがある。	事務室に 用事がある。	
⑥	しかいを つとめる。	司会を 務める。	
⑦	いのちの おんじん。	命の 恩人。	
⑧	ねんがじようを だす。	年賀状を 出す。	
⑨	ねんぶつを となえる。	念仏を 唱える。	
⑩	ほとけの こころ。	仏の 心。	
⑪	さくらの きを うえる。	桜の 木を 植える。	
⑫	びようきが なおり、たいいんする。	病気が 治り、退院する。	
⑬	こうほうに しりぞく。	後方に 退く。	
⑭	ようきゆうを しりぞける。	要求を 退ける。	
⑮	シャワーを あびる。	シャワーを 浴びる。	
⑯	ボールを なげる。	ボールを 投げる。	
⑰	あいじよう。	愛情。	
⑱	いいんちようの あんに さんせいする。	委員長の 案に 賛成する。	

# 漢字を正しく読もう・書こう⑬

年 組 番 名前

次の問題①～⑬のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんではいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	いちミリ いかは はぶく。		
②	ひとの いふくを かりる。		
③	じゅうの くらい。		
④	いけの しゅういを はかる。		
⑤	いが いたい。		
⑥	しあわせを ねがう。		
⑦	しようにりを よろこぶ。		
⑧	びょうにんを すくう。		
⑨	てを あげる。		
⑩	ひもを むすぶ。		
⑪	はるを つげる うめが さく。		
⑫	じっけんを こころみる。		
⑬	みずを ひやす。		
⑭	しあいに やぶれる。		
⑮	かならず じっこうする。		
⑯	あかみを おびる。		
⑰	つきの ひかりが みちを てらす。		
⑱	きの えだを おる。		

# 漢字を正しく読もう・書こう⑬

年 組 番 名前

次の問題①～⑬のぼう線部分のひらがなを漢字に直して、読みやすい文に書き直しましょう。ぼう線部分は、送りがなをふくんでいる場合があります。送りがなや漢字のはね、とめなどに気をつけて書きましょう。

問	題	解	答
①	いちミリ いかは はぶく。	一ミリ 以下は 省く。	
②	ひとの いふくを かりる。	人の 衣服を 借りる。	
③	じゅうの くらゐ。	十の 位。	
④	いけの しゅういを はかる。	池の 周囲を 測る。	
⑤	いが いたい。	胃が 痛い。	
⑥	しあわせを ねがう。	幸せを 願う。	
⑦	しょうりを よろこぶ。	勝利を 喜ぶ。	
⑧	びょうにんを すくう。	病人を 救う。	
⑨	てを あげる。	手を 挙げる。	
⑩	ひもを むすぶ。	ひもを 結ぶ。	
⑪	はるを つげる うめが さく。	春を 告げる 梅が さく。	
⑫	じっけんを こころみる。	実験を 試みる。	
⑬	みずを ひやす。	水を 冷やす。	
⑭	しあいに やぶれる。	試合に 敗れる。	
⑮	かならず じつこうする。	必ず 実行する。	
⑯	あかみを おびる。	赤みを 帯びる。	
⑰	つきの ひかりが みちを てらす。	月の 光が 道を 照らす。	
⑱	きの えだを おる。	木の 枝を 折る。	